



研究・研修報告書

令和6年1月29日

小牧市議会議長 様

会派名 公明党小牧市議団  
代表者氏名 加藤 晶子

研究・研修の結果を報告します。

記

1 参加議員

加藤晶子

2 日程

令和6年1月24日（水）

《午前の部》

3 研究・研修名

「ひきこもり本人の心情から見える能登半島地震の実態と日常の学校現場の課題」

4 主催者

株式会社廣瀬行政研究所 池上正樹（ジャーナリスト・KHJ全国ひきこもり家族会連合会副理事長）

5 会場

オンライン

6 受講の目的

ひきこもりに対する理解と解決に向けての糸口を学ぶため

7 主な内容

(1) ひきこもりと災害

- ・ 災害時に必要な支援や配慮

・命を守ることと事前の準備

(2) ひきこもり状態の人から学ぶ学校現場の課題

(3) 家族や周囲の関わり方

## 8 所感・提言・課題等

今回の能登半島地震における災害時の中での、ひきこもりの方々の様々な状況が紹介され、「社会のお役に立っていない自分が助かって良かったのか？」とのジレンマに陥っている人が多いと伺った。そうした思いを乗り越えるためにも更なる支援が必要であると痛感した。

また、家族の方々へのサポートの必要性は言うまでもないが、公的機関とつながり、サポートを受けやすい体制づくりが、自治体において取り組まなければならない課題であると認識した。

そして、「ひきこもり」とは「命を守るための待避であり、ひきこもる行為は自死ではなく、生き延びようとしている証である」との講師の言葉を伺い、一人一人の思いに寄り添える自分自身でありたいと強く思った。

## 《午後の部》

### 3 研究・研修名

「進む教育改革 ～足立区の不登校対策と学力向上策～」

### 4 主催者

株式会社廣瀬行政研究所 定野司(文教大学客員教授・前足立区教育長)

### 5 会場

オンライン

### 6 受講の目的

不登校対策を進め、また自治体としての学力向上策を学ぶため

### 7 主な内容

#### (1) 不登校～多様化する学び～

- ・学校を楽校にするには
- ・足立区における不登校対策
- ・既存の教育システムを進化させる

#### (2) 学力向上～主体的な深い学び～

- ・なぜ、勉強するのか？
- ・足立区における学力向上策
- ・「学ぶ力」を身に付けるには

## 8 所感・提言・課題等

特に不登校対策として、子どもの状況に応じた多様な支援メニューを考え、取り組んでいることが先進的であると思った。

たとえば、教室には入れるが自力で登校ができない子どもさんに対しては、登校サポーターによる登校時のお迎え支援を行ったり、教室に入れない子どもさんには、35校ある全中学校に別室を設置している。

学校に登校できない子どもさんに対しては、民間団体と連携し、学習支援ができる居場所を用意し、外出できないお子さんには、アウトリーチ支援を行い、オンライン教育支援センターを設置し、伴走支援を行っている。

さらには、幼稚園や保育園等を所管する就学前教育推進担当課を足立区教育委員会が所管し、就学前からの連携を密にしている。

こうしたことは、発想の転換もさることながら、区役所における機構改革にも通じ、大変難しいことと捉えている。

不登校対策は、一人一人の状況が異なることから、様々な取り組みのメニューが必要であり、小牧市においても、足立区の取り組みを参考にしながら、今後も取り組んでまいりたい。

